

平成29年第4回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成29年4月13日(木)

午後1時30分開会

開催日時	平成29年4月13日	開会 1時30分 閉会 2時24分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	教 育 長 山本 修司 教育長職務 代理者 鮎川志津子	委 員 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀 委 員 岡村理栄子	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 川合 修 生涯学習部長 西田 剛 庶務課長 加藤 真一 学務課長 河田 京子 指導室長 小林 正隆 統括指導主事 平田 勇治 指導主事 丸山 智史 指導主事 田村 忍	生涯学習課長 内田 雄介 図書館長 菊池 幸子 公民館長 林 利俊 庶務係長 中島 憲彦	
調 製			
傍聴者人数	2名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議 案 第 9 号	小金井市公民館運営審議会委員の委嘱について
第 3	報 告 事 項	1 平成29年度教育委員会の主な事業について 2 平成29年度学級編制について 3 寄付の収受について 4 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 5 教育課程の届出報告について 6 平成29年度研究奨励校等について 7 その他 8 今後の日程

開会 午後1時30分

山本教育長

皆さん、こんにちは。

ただいまから平成29年第4回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。

本日の会議録署名委員は、鮎川委員と岡村委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

山本教育長

今日は日程にちょっとゆとりがあるので、久しぶりにお一人ずつ、何かお話を伺いたいと思うので、よろしく願います。

最初に私から、1つお話をさせていただきます。

あえて、記録に残り、ホームページにも出るであろうと思うので、ここで話をさせてもらうのだけれども、最近、インターネットのいろいろなツイッターとかそういうところで、小金井市の教育委員会や学校教育を批判しているような記事を読んだ。いろいろあるのだけれども、その中の一つに、小金井市の学校教育がうまくいっているのは家庭や地域がいいからであって、教育委員会や学校教育の力ではないんだというようなことが書いてあったのである。

それを教育長や市長は自覚しろと書いてあったのだが、私は非常に残念な気持ちでした。もし、この記事が小金井市の学校の先生方が読んだら、非常に怒るだろうと思う。確かに小金井市は、家庭もしっかりしている家が多いし、地域的にも、非常に地域の教育力も高いし、学校にも支援してくださる方も多い。それは確かである。

しかし、教員や教育委員会が手を抜いているのかといたら、決してそんなことはない。教育委員会が旗を振って、いろんな研修や研究の取り組みをしているけれども、それに先生たちが一生懸命に取り組んでいる。ほかの市にはないような取り組みをやっている。それから、学校行事とかそういうところに行っても、非常に先生方が熱心に指導して、子どもたちが立派に応えている。

だから、決して家庭や地域だけがいいとは、私は言い切れないと思っている。だから、ぜひこの場をかりて、今日はちょっと言わせてもらったけれども、このホームページを一人でも多くの市民の方に読んでいただきたいなと思っている。

以上である。

鮎川教育長
職務代理者

4月になって初めての教育委員会ということで、昨年1年間を振り返る。

今の教育長の話にもあったが、学校教育、そして生涯学習、ともに地域の方の力をおかりしている部分もたくさんあるが、事務局の皆様をはじめ学校の先生方の情熱と、ご経験、授業力に関して、頭が下がる思いである。

授業力に関しては、素人の私が申し上げるのも僭越であるが、昨年度の学校公開などで授業を拝見した際、すばらしい授業をされていたらっしゃると思うことが増えたと思う。校長先生をはじめとして、よい改革を行ってくださっていることも、学校運営連絡会で話を伺っている。

4月は異動の時期である。3月に小金井を去られた先生もいらっしゃり、寂しい思いもしているが、人の交流も大切なことと思っている。

例えば、第二中学校では昨年度、4月に校長先生、副校長先生がかわられたが、新しい管理職の先生方が新しい視点で考えてくださっていることも伺った。

細かなところであるが、具体例としては、図書室について、副校長先生が前にいらっしゃった緑中は2階にあって、行きやすいところだったけれど、二中は4階にあるので、子どもたちが利用しにくい。前の学校との比較し、施設面で場所はかえられないけれども、子どもたちが4階の図書室まで足を運べるよう、さまざまな工夫をしてくださって、読書活動を大切にしていると伺った。

先生方はお忙しい中、先ほどの教育長のお話にもあったが、学校行事も、大変すばらしいと思う。昨年の秋に各学校の文化行事を拝見したが、劇なども、涙が出てしまうほどすばらしい。保護者や地域の方々が感動なさったと思う。

地域の方のお力を生かすというのが小金井の特徴の一つであると思うが、それを陰で支えてくださっている事務局の皆様、特に生涯学習に関しては、表に出るのが地域の方のことが多いが、大変すばらしい企画をしてくださっている。多くの方のお力があっての今の小金井の教育が成り立っていると、昨年1年間を通じて感じたことである。

福元委員

先日、東京都の教育施策連絡協議会があって、都知事のメッセージとか、都の教育長からの今年度の施策についての話があった。東京都のほうで進めようとしている施策は、小金井市ではもう既に多くを押さえており、先を行っているなというような感じで聞いていた。

特に、主要施策の中で、子どもたちの学びを支える教師力、学校力の強化みたいなもの話があったが、それは、小金井市は二、三年前から全校で取り組んでいて、もちろん事務局の指導や支援があってできたことだと思うのだけれども、既に東京都の中でも先を行っている、そのような感じを受けた。

全員が授業をする、それから、研究協力校を進んで引き受けるなど研究は全校で深く深く進めているというような、小金井の現状を振り返ったとき、小金井市の学校は少し自信を持ってもいいのかもしれないなというような気がした。もし機会があれば、そんなことも学校に伝えたいなと、そんな思いで聞いていた。

以上である。

渡邊委員

私は、3月17日に二中の卒業式、それから、24日に二小の卒業式へ行ってきて、両方とも非常に立派な卒業式で、やっぱりそれぞれの学校で終える、ある程度、集大成だと思うので、立派にできてよかったなと思った。

また、4月6日、7日は東小と一中の入学式へ行ったのだけれども、特に、小学生は非常に元気な子が多くて、校長先生にお聞きしたら、年度によって全体の雰囲気が違うということだったのだけれども、元気なお子さんが入ってきて、よかったなと思った。

前後するが、4月4日に、昔のふるさときゃらばんなんだけれども、宮地楽器ホールで演劇があって、そこで非常に多くの小・中学生、30人か40人ぐらい出演されて、立派に、見学者でなくて出演者として、舞台に上がって踊ったり、歌を歌ったり、そうした演技ができたということで、それも小・中学校の学力の一つのあらわれであると思って、非常に感激した。

また、1日に、桜まつりのときに小池知事が小金井公園へいらっしゃって、この前、ご案内いただいたんだけど、オリンピック・パラリンピックの旗の交換の、三宅さんとか中学生の、これも中学生の代表の方が出て、市長と4人でフラッグを交換した。ほとんど

雨は降っていなかったんだけど、1日のいい時期に知事が来ていただいて、よかったなと思った。

また、4月9日に、前市長の稲葉さんが旭日中綬章の受章祝賀会が立川であって、400人を超える小金井の人たちが参加して、なかなかあれだけの大人数が一堂に会するというのも、実際、人の参加を見ても、やっぱりすばらしい方だったと思っていた。

以上である。

岡村委員

私は、給食というのは食育の一つとして、とても大切だということは前からわかっていたのだが、今度、給食費の値上げに関して、小金井市の給食の内容とか見てみたら、ほんとうにすばらしい給食でした。ほんとうにいいものを食べるというのは、そのときの体を丈夫にするだけではなく、将来にわたって自分の食事について考えるのにすごくいい機会だと思うので、値上がりしたとはいえ、内容は全然変えずにそのまま、地産地消とかいろいろ考えていただいて、値上がりしたけれども、それだけの価値が十分あったということを感じた。

又、もうちょっと給食のことを一般のお母さん方にもよく知ってもらうように、市報とかに、こういう珍しいものを出したとか、給食だよりみたいなものとしてもらえたらアピールになるかということも、お願いしたいと思う。

それから、入学準備金、あれを前倒しが決まって、基礎になる家庭の収入は、ちょっと上がってしまったので、もらえる人が少なくなったのは残念ですが、前倒しになるということにすぐ対応していただいて、すごく皆さん助かっていると思うので、ほんとうによかったと思う。これからもよろしく願います。

山本教育長

前倒しと同時に、金額も倍増である。

岡村委員

前倒しで、そして個々の家庭の金額は上がったのである。

山本教育長

ありがとう。

次に、日程第2、議案第9号、小金井市公民館運営審議会委員の委嘱についてを議題とする。

提案理由について説明願う。

西田生涯
学習部長

提案理由についてご説明する。

小金井市公民館運営審議会委員が平成29年3月31日をもって1名欠員となったので、新たに委員を委嘱するため、本案を提出するものである。

細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

林公民館長

議案第9号別紙をごらんいただきたい。

審議会規則では、第2条（委員の構成）、第1号「小金井市内に設置された各学校の長 1人以内」となっているけれども、委員の第一小学校の今城先生が、この春をもって第一小学校を定年で退職された。

1号委員として、第一小学校の高橋良友先生を新しい委員として委嘱するものである。

なお、任期は平成29年4月13日から平成29年9月8日までである。

以上である。

山本教育長

事務局の説明が終わった。

何か質問、ご意見はあるか。

よろしいか。それでは、以上で質疑を終了する。

それでは、お諮りする。議案第9号、小金井市公民館運営審議会委員の委嘱については、原案のとおり可決することにご異議はないか。

（委員一同異議なしの声）

山本教育長

ご異議なしと認める。本件については原案のとおり可決することと決定した。

次に、日程第3、報告事項を議題とする。

順次、担当から説明願う。

報告事項1、平成29年度教育委員会の主な事業について。

川合学校

それでは、私のほうからは学校教育部の総括的などころのお話を

教育部長

させていただきたいと思う。

本日お配りしている資料のほうをご覧いただきたい。「一般会計性質別集計表」という、A4横になる。当初予算の前年比較の裏面である。

表側に教育費、表頭に人件費からその他、合計とあるけれども、教育費の欄の一番右の合計をまずご覧いただきたい。前年度対比では1億6,000万円ほど、29年度の予算については多くなっている。

その主な内容としては、まず、普通建設事業費、右から4つ目のところにあるけれども、これで約1億4,000万円、教育費全体で増となっている。そのうち、学校設備の関係の工事費等が約7,500万円の増になっている。

あと、左の方の補助費等では1,800万円ほど増えているが、これは、指導室の予算で、不登校児童・生徒のモデル事業に要する経費がある。その事業で使われる報償費が2,050万円ほど増になっている関係で、教育費が増えていると分析をしている。

次は、裏面のを見ていただいて、平成29年度の前年度の対比ということで、まず、学校教育部のほうを見てみると、全体で、上から2段目になるけれども、9,887万7千円の増となっている。

その中を細かく見ていくと、小学校費で1億431万9千円の増となっている。これについては、学校建設費の8,323万1千円の増、これが大きな要因となって、小学校費のほうは増えているような状況である。

次に、中学校費のほうであるが、増はちょっと少ないけれども、学校管理費で2,400万円ほど増えているが、この中の一部、1,500万円ほどが、学校施設の管理業務の委託を今年度から始めていて、その一部がここに入っている状況である。

中学校費も、教育振興費で1,400万円ほど落ちているけれども、これは、昨年度、教科書の採択替えに伴う先生方の指導書の購入が1,400万円ほどで、その分が今年度、減額となっている。

全体的に見ると、やはり施設に対する工事費関係経費が増えたことが、教育費の増額に繋がっている。

詳細については各担当のほうから説明するので、願います。

加藤庶務課長

お手元の報告事項1資料に基づき、説明させていただく。

それでは、平成29年度庶務課における主要な事業について、概略であるが、説明させていただく。

小学校の施設設備に要する経費については、第一小学校、第二小学校、第三小学校、前原小学校及び本町小学校の非構造部材改修工事並びに本町小学校の給食機器設置に伴う設備工事並びに第四小学校の屋上防水改修工事及び給食室防火区画改修工事等を行う予定で、学校施設としてふさわしい安全で快適な環境の確保に努める。

特に非構造部材ということでは、学校施設は未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、活動する場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であるので、実施していくところである。

近年の大規模な地震では、天井材の落下など、いわゆる非構造部材の被害の発生している現状があって、非構造部材の耐震対策の重要性に鑑み、行うものである。ガラス飛散防止対策に加え、つり天井等の落下防止対策を行うものである。

中学校の施設整備に要する経費についてである。小学校と同様に、平成28年度から引き続き、第一中学校、第二中学校及び東中学校の非構造部材改修工事並びに第一中学校のトイレ改修工事並びに南中の給食用リフト工事などを行い、小学校と同様に、安全で快適な学習環境を確保していく。

第一中学校のトイレ改修事業は、小金井市の第4次基本構想・後期基本計画の中期財政計画に基づくもので、小・中学校のトイレ整備事業の一環として実施するものであって、昨年度までは小学校、今年度からは中学校において、実施するものである。トイレの内装や一部の設備を改修し、トイレの3K、臭い、汚い、暗い——最近では5Kとも言われているようであるが——を改善するものである。

庶務課からの説明は以上である。

河田学務課長

それでは、学務課関係の予算をご説明する。

まず、通学路防犯カメラ設置工事である。

通学路の防犯カメラについては平成27年度から設置しているが、当時、電柱の都合で設置できなかった緑小の1カ所について、電柱の移設が完了したため設置する。

周年行事関係経費である。

小学校費と中学校費は分かれているので、順不同になるが、あわ

せてご説明する。

第二小学校、それから、第一中学校が、両校とも創立70周年を迎えることとなった。記念誌の印刷や記念品を購入する予算になっている。

教育用ICT機器関係である。

こちらは、児童・生徒の学習環境の向上及び情報化への対応を推進し、次期学習指導要領実施に向け、普通教室におけるICT環境の整備を推進する。各教室に可動式ICT機器、無線アクセスポイント、画像転送装置を導入する。こちらの導入は夏休みの期間を予定している。

校務用サーバ等借上料である。

こちらは、教職員が校務で使用している校務用サーバを入れかえ、一元的に管理するための借上料である。こちらのほうも、夏休みをめどに入れかえを予定している。

最後に、学校給食に要する経費では、本町小学校に強化磁器食器を導入する。また、食器の入れかえに伴って、必要な備品などを購入する。

工事については夏休みを予定しているが、詳細については、また改めてご報告をさせていただきたいと思っている。

以上である。

小林指導室長 それでは、指導室のほうから、3点ご説明する。

まずは1点目、命のとうとさを大テーマとして、豊かな心の育成が求められている。子どもたちが命の大切さを心から感じ取り、命に対する畏敬の念を持ち、自他の命を尊重する態度を身につけるためには、子どもたちに夢や希望を持たせ、自己肯定感を高めることが必要である。

そこで、児童・生徒、保護者などから、勇気と希望が湧いてくる言葉を募集した。現在、第3集まで発行しているが、子どもたちから出た率直な言葉が、市の内外で大変好評を博している。今年度は、これまで発行したものと合わせ、「魔法の言葉集」として、冊子として発行する。

2点目、学習支援ボランティアの謝礼である。

本市では家庭、地域との連携が緊密であり、多くのボランティアが学校の教育活動を支えている。このボランティア活動の促進を図

るため、市立小・中学校の児童・生徒の学習支援等に従事する学生ボランティアに、謝礼として図書カードを配付する。このことにより、一層の教育活動の活性化を図っていきたいと考えている。

3点目は不登校の改善である。

不登校の要因は複雑化し、全国的に大きな課題となっている。本市では、東京都の不登校児童・生徒支援モデル事業を受けており、事業2年目となった。適応指導教室であるもくせい教室を不登校対策支援センター的な役割と位置づけて、SSWや医師など、福祉や医療などのさまざまな関係機関及び専門家と連携し、不登校の児童・生徒、保護者の支援を行う。全ての児童・生徒が不登校改善への次のステップを踏み出し、自立の道を歩むことを目指すものとする事業である。

報告は以上である。

西田生涯
学習部長

それでは、平成29年度の生涯学習部の主要な事業について説明する。初めに私から総括的にお話をさせていただき、具体的な施策については各課長から説明させていただく。

まず、平成29年度の予算について、概略を説明する。報告事項1資料と、その次の比較の資料をごらんいただきたい。

生涯学習部が所管する社会教育費が7億8,951万2,000円で、前年度対比9,180万2,000円の増、保健体育費で見ると2億8,861万2,000円で、2,991万4,000円の減、合計で、前年度対比、合計のところを見ていただくと、約6,188万8,000円の増となっている。

これは、図書館本館空調設備改修工事にかかる工事請負費1億800万円が新規に予算化されており、予算増額の大きな要因になっている。

また、減額要因の大きなものとしては、28年度に予算措置をした体育施設費の総合体育館屋上防水等改修工事が終了したことで、これが、2,246万4,000円予算化していたので、皆減している。この関係が大きなものと捉えている。

その他特徴的なところでは、前年度をもって、3年間実施したチャレンジデー事業が終了となり、関連予算が皆減となっている。

それでは、生涯学習部における主要な施策である、市の生涯学習施策については、平成28年3月に策定した第3次小金井市生涯学

習推進計画に基づき推進しているが、特に重点プロジェクトとして定めた11の項目について、進行管理など適切に行ってまいる。

また、間もなく完成する予定となっている小金井市スポーツ推進計画を着実に推進し、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックも契機に、スポーツに親しむ市民を増やし、健康寿命の延伸などに寄与していきたいと考えている。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願いする。

それでは、担当課長から個別の説明をするので、お願いする。

内田生涯
学習課長

生涯学習課の主要な事業について、ご説明申し上げます。

少年自然の家非常用照明交換工事について、ご説明申し上げます。

平成28年度に実施された特定建築物定期調査において、清里山荘施設内の非常用照明の交換の必要性が指摘された。これらは施設開設時に一斉に取りつけられているので、ここで全てを交換工事するものである。

続いて、アシスタントティーチャー事業委託料について、ご説明申し上げます。

子どもの体力が以前より低下していることが、各種メディアによって報道されている。これを向上させるため、小学校の体育授業の活性化が必要と考えられる。

そこで、体育授業の指導体制を充実させ、グループ指導や個別指導を行うなど、小学校の運動会やプール等で、体育教師を目指す大学生等をアシスタントティーチャーとして委託することで、教師を補助し、子どもたちが常に運動やスポーツを楽しみ、運動志向を向上させることを目指すものである。

続いて、ストレッチ体操普及啓発委託料について、ご説明申し上げます。

長寿高齢化社会になる中、健康寿命の延伸が求められている。誰でも元気に、より長く健康な生活を続けることを目標に、日常的に取り組む体操として、人間が本来自然に保持している身体の神経システムと筋肉のつながりのバランスを回復し、整えることで心身のリフレッシュができるという、フェルデンクライスメソッドを用いたストレッチ体操を、委託によって普及啓発するものである。

続いて、野川駅伝大会運営委託料について、ご説明申し上げます。

今年度で14回を迎える野川駅伝大会は、都立武蔵野公園第二調

節池を拠点に行われ、冬のスポーツとして定着している。年々、参加希望が増える状況で、出場チームを定数化し、調整を行うほど盛況となっている。小学生4年生以下、小学生5・6年生、中学生女子、男子、一般（高校生以上）というカテゴリーで、体力向上のほか、チームの団結力を高めることも目的としている。

今回は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成のため、著名な陸上選手を招き、指導や講演を行うこととしている。

以上である。

菊池図書館長 それでは、図書館から説明させていただく。

平成29年度も、図書館は小金井市立図書館運営方針を重視し、推進することにより、市民の皆様信頼される図書館を目指してまいる。

今年度の市の事業については、図書館本館空調設備改修工事がある。平成28年度に実施した設計に基づき、図書館本館の全フロアの空調設備の改修工事を行うもので、公共施設として適正な施設環境を整備するものである。

まだ設計段階であるが、工事期間は約半年、本館の休館期間は4カ月程度になる見込みで、図書館の繁忙期を過ぎた秋ごろからの休館を予定している。現在、この工事によって図書館運営にどのような影響が生じるかを図書館内部で精査し、対応策の検討を進めている。

工事業者が決定後に、工事の詳細やスケジュール等が決まっていますので、お知らせできるところから、市民の皆様には周知していく、そのような流れで進めている。

図書館からは以上になる。

林公民館長 公民館からは、貫井南分館外構工事である。

こちらについては、貫井南分館のブロック塀のあるところが老朽化がかなり進んでいるところなので、撤去して新設をしていくものである。

工事に当たっては、近隣住民との話し合い等を行い、丁寧に対応をしていきたいと思っているので、工事についての詳細はまだ決まっていないが遺漏なく進めてまいりたい。

山本教育長 いろいろと説明があったけれども、ご質問等はあるか。何でも結構である。

鮎川教育長 質問ではないが、感想を何点か述べる。

職務代理者 まず、前年度の予算と比較して、教育費は全体的に増ということで、教育が大切にされていると思い、大変ありがたく思う。部長さんが努力してくださった結果として、このような数字が生み出されたことと思う。

 細かな点では、学校教育の校務用サーバについて、今まで再三にわたり、教育委員会や総合教育会議でお願いをしてきたことがこのように実現されたこと、大変ありがたく思う。どうもありがとう。

 不登校児童・生徒支援モデル事業、何年も前から、一人でも不登校のお子様がいらっしゃったらフォローをお願いしたいと申し上げていた。お金だけの問題ではないのだが、予算がつくということで、主な事業として、小金井の教育の中での大切にしていきたい部分と思う。

 「魔法の言葉集」は、この予算で第3集が出て、冊子化ということであるか。

山本教育長 さらに新しい言葉を加えて冊子を作る。

鮎川教育長 道徳の授業について、ここで申し上げてはいけないのかもしれないが、個人的な意見では、大人の自分も幸せになる言葉がたくさん載っているので、授業の中でも使っていただけたらよいと思っている。

 最後に、生涯学習部も、予算増ということで、事業が次々と展開されていくことと思う。オリパラが近づいて、そして、ラグビーのワールドカップも、ラグビー人気に乗ってさらに発展していくとよいと思っている。

 以上である。

山本教育長 ほかにいかがか。

福元委員 先ほどのお話と重なってしまう部分なのだが、29年度の教育委

員会の主な事業というので、少ない予算の中で、大事なことを予算化していただいたなと感じている。

中でも2点、次期指導要領の実施ということを考えたときに、教育用ICT機器の環境を整えていくということは、どうしても必要なことだろうと思うのである。それを何とか予算化して、ここまで持ってきていただいたということ、これはすごくよかったなと思っている。これからもまた、さらに充実する方向で進めていければいいなと思う。

もう1点は、今、文科省もそうであるし、東京都も、学校の働き方改革ということを盛んに言い始めているが、校務用サーバというのは、教員の仕事環境を改善するという意味でも、大きな意味があるかと思う。これもよかったなと思っている。

山本教育長

ほかにいかがか。よろしいか。

それでは、次に進む。

報告事項2、平成29年度学級編制について。

河田学務課長

それでは、報告事項2、平成29年度学級編制の状況について、ご報告する。

お配りしている資料をごらんいただきたい。表面が、平成29年度、学級編制状況となっている。学級編制基準である4月7日の状況を報告させていただく。

なお、今年度の学級編制状況については、平成25年度に改正された東京都公立小学校、中学校、教育学校前期課程の学級編制基準により、小学校1年生、2年生、中学校1年生が35人編制、または、少人数指導やチームティーチングTTによる教員の加配を選択できる制度となっている。

さて、4月7日の内容となるが、前年度と比較すると、小学校では、通常の学級で児童数が133人増加しており、学級数は1学級の増となっている。また、中学校では、通常の学級で生徒数が60人減となった。学級数については、2学級減となっている。

通常学級の1学級平均児童・生徒数は、小学校では31.84人と、昨年度と比べ0.64人の増となっている。中学校では33.97人で、昨年度と比べ0.12人の減となっている。

なお、小学校2年生の小2加配では、小金井第四小学校、前原小

学校が、1学級35人編制とする学級規模縮小で対応した。また、中学校1年生の中1ギャップ加配では、小金井第一中学校がTTを活用することになった。

さて、特別支援学級については、小学校では1名増、学級数は1学級増となる。中学校では13人の増となったが、昨年度より学級数は2学級の増となっている。

なお、児童・生徒数は、在籍者から小学校25人、中学校10人の学級編制算定除外者を控除した数値となっている。

次に、裏面の「国立・私立等に入学した新一年生調べ」になる。

小学校で、国立・私立、特別支援学校等へ入学した方が50人いらっしゃる。新1年生全体の5.3%と、前年度より0.3ポイントの減となっている。中学校では、国立・私立、特別支援学校等へ入学した方は219人で、新1年生の全体の24.6%である。

なお、都立一貫校へ入学した人数については、昨年度より10名減の14人となっている。

最後となるが、ご参考までに、「平成29年度通級指導学級の状況」を掲載した。詳細は表をごらんいただきたいと思う。

報告は以上である。

山本教育長

ご質問等はあるか。

鮎川教育長
職務代理者

ちょっと聞きそびれてしまって申しわけない。

小1プロブレム加配は学級規模縮小ということで、中学校の中1ギャップ加配は、一中がTTということか。

河田学務課長

そうである。

鮎川教育長
職務代理者

ほかの学校はいかがか。

河田学務課長

特にそういう該当がなかったということである。

鮎川教育長
職務代理者

一中以外は特になかったと。

河田学務課長 なかった。

鮎川教育長
職務代理者 ありがとう。

山本教育長 ほかにあるか。
それでは、3番に進む。
報告事項3、寄付の収受について。

河田学務課長 それでは、報告事項3、寄付の収受についてのご報告をする。
平成28年度の寄附物品については、資料にあるとおりである。
地域の業者様、個人、PTA様、団体様より多くの物品をご寄附いただいた。大変感謝申し上げますとともに、大切に使用させていただきたいと思っている。
簡単であるが、報告事項についての報告を終わらせていただく。

山本教育長 質問等はあるか。
私から1点だけけれども、一番下の新聞の閲覧台で、全校から希望があるかなと思っていたんだけど、ないところはそれなりの理由があるのか。忘れたなんていうことはないか。

河田学務課長 希望しない理由までは確認をしなかったのだが、希望した学校にはというお話であるので、希望のあった7校にいただいた。

山本教育長 ちょっともったいないような気がするけれども、わかった。
それでは、報告事項4、小・中学校教育管理職及び教員の異動について。

小林指導室長 報告事項4資料「平成29年度小金井市立学校 校長・副校長名簿」及び裏面になる。裏面には、左側に小学校の転入・転出名簿、右側に中学校の転入・転出名簿が用意されている。
なお、丸印がついているところについては、4月7日段階で学級数等が増えたために、今、人材をこれから発掘するところで、名前が入っていない。
報告は紙面にてかえさせていただく。以上である。

山本教育長

ご質問等はあるか。

それでは、報告事項5、教育課程の届出報告について。

小林指導室長

報告事項5、教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について。

平成29年2月6日から3月7日にかけて、市立小・中学校14校の教育課程を受理した。配付した資料は、平成29年度教育課程のまとめとなる。

全小・中学校が、学習指導要領の理念と「明日の小金井教育プラン」の計画に向けて作成した教育施策、主要事業を具現化するように、学校や地域の実態を踏まえ、創意工夫をした教育課程を編成することを指導してまいった。

平成29年度の教育課程編成の重点としては、平成28年度に引き続き、人権尊重の精神の育成と学力向上の推進の2点とした。各学校の教育課程では、この2点について、児童・生徒の実態や地域の特色等を踏まえ、具体的な取り組みが示されている。

各学校の教育課程編成上の工夫としては、外部人材や地域ボランティアを生かした学習支援や体験活動の充実を図る学校公開事業やセーフティー教室など、土曜日の授業を充実させ、家庭や地域との連携を図る学校も見られる。

今年度の市立小・中学校においては、学校の教育目標の具現化に向けた特色ある教育活動を展開されることが期待される。教育委員会としても、校長会や副校長会、教務主任研修会や学校訪問の機会を活用して、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の推進、教育課程の適正な進行管理について指導をしていく所存である。

報告は以上である。

山本教育長

ご質問等はあるか。

それでは、報告事項6、平成29年度研究奨励校等について。

小林指導室長

報告事項6、平成29年度小金井市教育委員会研究奨励校等について報告をする。報告事項の資料をごらんいただきたい。

資料にあるように、平成29年度の研究奨励校は2校である。

2年目になる緑中学校は、「伝え合う力を伸ばす活動の追及」に

ついて、平成30年1月31日に研究発表を行う予定である。

今年度新たに、小金井第三小学校を研究奨励校と指定した。

次に、授業改善推進指定校である。2校を指定した。

2年目になる小金井第四小学校は、「主体的・協働的に学ぶ児童の育成～算数科の学習を通して～」について、12月1日に研究発表会を行う予定である。

今年度新たに、南小学校を授業改善推進指定校に指定した。

次に、平成29年度東京都オリンピック・パラリンピック教育の推進事業である。2つの事業を受ける。

1番、オリンピック・パラリンピック教育推進校に、市内全小・中学校が指定を受けた。

2番、スーパーアクティブスクール指定校に、昨年度に続き、小金井第二中学校が指定を受けた。

平成29年度東京都道徳教育推進拠点校に、昨年度に引き続き、東小学校と緑中学校が指定を受けた。東小学校と緑中学校が、今年度の小金井市における道徳の教科化に向けた実践研究をしていく。

平成29年度ICT活用授業推進校に前原小学校を指定した。タブレット型情報端末を活用した授業などの研究を先進的に取り組んでいく。

平成29年度東京教師養成塾教師養成指定校に小金井第二小学校が指定を受けた。小金井第二小学校は、教師養成塾2名を育成してまいる。

平成29年度日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業として、日本の伝統・文化教育推進校に緑小学校、南小学校、小金井第一中学校が、昨年度に引き続き指定を受けた。

報告は以上である。

山本教育長

ご質問等はあるか。

鮎川教育長
職務代理者

1点質問である。

日本の伝統・文化教育推進校は3校だけである。他市では、市内の全校が推進校となっている市もあるが、これは希望制なのか。どのような理由で3校になっているのか。

小林指導室長

本市の希望で3校。

鮎川教育長
職務代理者

小金井市として3校を希望した。

小林指導室長

はい。

鮎川教育長
職務代理者

わかった。ありがとう。

山本教育長

あと、オリパラ教育の推進とスーパーアクティブスクール指定校の違いは何であるか。

小林指導室長

オリンピック・パラリンピック教育は、学習指導要領の目標達成を目指して、各教科の学習内容、活動とオリンピック・パラリンピックを関連づけて、4つのテーマ、オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境と4つのアクションを組み合わせた取り組みを展開する。

スーパーアクティブスクールというのは、東京都の課題である中学生の体力向上について、具体的な取り組みを研究開発し、成果を広く発信する学校である。例えば体力テストの課題である、「投力」や「握力」を向上させる効果的なトレーニングなどを研究開発するということに違いがある。

山本教育長

わかった。

そのほか、あるか。

それでは次に、報告事項7、その他である。

学校教育部から、ほかに報告事項があれば報告願う。

小林指導室長

指導室から1件。

先ほどもご報告させていただいた点であるが、勇気と希望が湧いてくる「魔法の言葉集」第3集の発行についてである。

このたび、命を大切にする心情を育て、自信を失いかけた子どもたちの心が温まってほしいと願い、勇気と希望が湧いてくる「魔法の言葉集」第3集を、第1集、第2集に続き発行した。この言葉集は、子どもたちの自己肯定感を高めること、どんな窮地に陥っても

支えてくれる家族や先生、友達がいることを改めて子どもたちに知ってもらうことを目的としている。第3集には特別寄稿として、西岡真一郎小金井市長のエピソードも掲載されている。

第3集より2つ紹介する。

小学校4年生の「ありのままでいいんだよ」という言葉では、まだ学校になじめていないころに、相談に乗ってくれた母が言ってくれたこの言葉にとても勇気づけられたというエピソードが紹介されている。

また、中学校2年生の「苦しみの上に希望がある」という言葉では、サッカーでつらい練習をしていたとき、チームメイトが贈ってくれた言葉で、どんな練習も頑張れるようになったというエピソードが紹介されている。

これまでに各学校からは、子どもたちが最後まで真剣に読んでいた、自分が勇気づけられたなどの声や報告が上がってきている。また、市内外から問い合わせがあり、学校で行うスピーチで話題にしたいので取材させてほしい、本市においても同様の取り組みを検討したいので、作成までの手順を教えてほしいなど、多くの反響があった。

第3集は、平成29年3月に全児童・生徒に配付されている。今年度中に、引き続き第4集の発行を予定している。

報告は以上である。

山本教育長 反響というのは、東京新聞であったか。

小林指導室長 そうである。

山本教育長 先日、掲載された。
また、先日、某社の新聞記者に会ったら、単行本になったら記事を掲載するので、いつであるかと聞かれたのだが、いつごろになるか。

小林指導室長 年度末には。

山本教育長 もっと早くならないかな。9月ごろ。できるだけ早く。

小林指導室長 はい。

山本教育長 それでは、生涯学習部から報告事項があれば、報告願う。

西田生涯
学習部長 特にない。

山本教育長 今後の日程について、報告願う。

中島庶務係長 それでは、教育委員会の今後の日程について報告する。
東京都市町村教育委員会連合会第1回理事会が、4月24日、月曜日、午後2時から東京自治会館大会議室で開催される。福元委員のご出席をお願いする。

続いて、平成29年第5回教育委員会定例会が、5月9日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、平成29年第6回教育委員会定例会が、5月23日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（神奈川大会）が、5月26日、金曜日、神奈川県大和市やまと芸術文化ホールで開催される。福元委員のご出席をお願いする。

続いて、東京都市町村教育委員会連合会第61回定期総会が、5月31日、水曜日、東京自治会館講堂で開催される。全委員のご出席をお願いする。

続いて、平成29年第7回教育委員会定例会が、7月11日、火曜日、午後1時30分から801会議室で開催される。全委員のご出席をお願いする。

今後の日程は以上となる。

山本教育長 よろしいか。

以上で報告事項を終了する。

本日の審議は全て終了した。これをもって平成29年第4回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後2時24分